向陽新聞
発行所　高知市春野町97　土佐高等学校新聞部
編集人　大脇憲二
発行人　萩野泰啓

こんな学校にする

傳統を忘れぬ大量教育
寄宿舎設置の要望もある

大嶋校長先生は教育功労者として十三日、文部省から表彰されたが、東京支局で「神田共立講堂での表彰式終了後、土佐中五高生・同学社社長の『これからの本校』をテーマに対談してもらった。（支局側＝臨林、細木記者）

対談　近藤久治氏　大嶋校長先生

〔東京支局〕

近藤久治氏と『これからの本校』をテーマに対談してもらった。（支局側＝臨林、細木記者）

編集部　今日はお疲れのところをどうも……。それでは今後の『土佐中・土佐高教育について』というテーマでお話し願いたいと思います。

近藤　先生、本日はお目出とうございました。この日に今後の学校の教育について私に校長さんの抱負をきいてほしいとの編集部の意向ですが、『教育関係の図書を出版しているから』というのが、私がお相手にえらばれた理由らしいです。先生が学制八十周年にあたって、高知県からただ一人選ばれて表彰されたことは、先生のお喜びはもちろん、私達土佐中高の関係者にしましても大変うれしく感じています。

先生は一体おいくつの時から教育界にはいられましたか。

大嶋　今年で四十二年目ですから……、二十二才の時からですね。

近藤　その長い間はほとんどスト・アップがあって給与がいいのですが、私学ではそれに対抗していくのがなかなか困難です。幸い振興会の方のおかげで、何とか切り抜けていますが、将来どうするかで悩んでいます。本校は優秀な先生をやとわなければいけないという課題もありますし……。

近藤　公立学校の経営と私立学校の経営とを比べられて、色々と変った面が多いと思いますが。

大嶋　公立学校は、現在の制度下では教員の任命も予算もすべて教委によって立案され、決定されるので、校長は教育のみに力を入れることが出来るだろうと思いますが、私立学校は経営面でも、職員の採用にも色々と骨が折れます。殊に公立にはベーその長い間はほとんどですか。公立の学校で五校ですか。

大嶋　私立学校のほうは……。

近藤　今年で土佐高に来て、旧制中学から引続き十八年になりますが、土佐中が最初でしかも最後になりますよ（笑声）

大嶋　いやどうも……。

近藤　優秀な先生をやとわれることは生徒も父兄も一致した希望だと思います。戦災以来、今までの少数教育から大量の子弟を収容するように変化したわけですが、先生の時代的洞察力が大変適確であったと思います。私達昔は少数教育の伝統維持を唱えたこともあったのですが、こんにちの私学経営の困難な時には、それではいけない、との意味からもたいへん感心している次第です。

大嶋　いやどうも……。

近藤　生徒の個性をいかに生かすか、自由教育という点に関して——

大嶋　それはこんにち以後の学校教育に課せられた大きな問題で、たいへんむつかしいことです。しかし、生徒の周囲の事情や才能などを理解し相談にのるのが教育者に課せられた使命だと思います。

個性のばす自由教育を

近藤氏

近藤　生徒をあまり〝しめる〟という意味でなくてやっていただきたいですね。

大嶋　……。

近藤　野球がセンバツに出場して我々もられしかったのですが、スポーツ方面は——体育の必要性は今さらいうまでもないですね。野球ばかりでなくテニスその他の球技でもほとんど県下で一番です。昔の土佐中は少人数で、対抗競技などはなかったが、大人数になると何か気勢をあげるものが必要でしてね（笑声）

大嶋　選手制度はどうかとも思うんですが、やはり能力のあるものは、それを伸ばすという意味からも奨励していますが、あくまでも本校の本質的性格を無視した選手養成をするわけじゃないです。スポーツばかりやって青年をモヤシにするつもりは毛頭ないです。一般社会教育の面からも考えて、役立つものがあると思いますし実際、役立たせたいと思います。

近藤　校舎が最近あるように増築するたびにびっくりするのですが、講堂といっても、体育館兼用のものを今年中に一千万円もいるので……。それに引続いて運動場の拡張……。

大嶋　え、その他にも寮を作ってくれとの要望もありますが、建築が専門ではないですからね（笑声）

近藤　東京でも卒業生の宿に土佐中会館といったようなものを建てるという夢があるわけですがね。東京はまったく下宿難ですから。

大嶋　何とかしたいものですね。

近藤　それではどうも……お疲れのところを恐縮でした。今後ますます健康で母校の発展に御努力をいただきたいと思います。

大嶋　ありがとう。今日こういうテーマで話会ったということは、うれしい想い出になるでしょう（笑声）

校長　優秀な先生をそろえる

近藤　現在教育課程に何か独自なものを採り入れていられますか。

大嶋　文部省の規程に一時準拠していましたが、本校の特殊性を考えると大学進学者が多いので、大教科制を廃して、小教科制に切換えてなるべく各科を並行的にやっています。

近藤　今年、東大に十人パス し、京大その他いい大学にも多数進んで、地方の高校としては相当にすぐれた成績だろうと思うんですが、教育全体があまり予備校的になってはいけないしかも一方では進学希望者が多いようで、この点たいへんむつかしい問題だろうと思いますが、先生はどういうように……。

大嶋　本校では進学志望者にはその希望を達成させることが、使命の一つであろうと考え、一方では高校教育を完成教育とする意味をも重視して、それと並行して行っています。

近藤　生徒が沢山にうかった のは、やはり先生方が熱心で、卒業すればすぐ社会へ出る生徒も多いでしょうね。

大嶋　その人達に対する職業指導は……。

近藤　今年は四十名ぐらいの就職希望者の中で九割以上が就職出来たのは好成績だったと思います。ここでちょっと現在の校務分掌のことになりますが指導部を設け、各教科の先生をあてて進学指導をさせています。そのほか実務部を設けてそろばん、簿記などの職業指導を担当させています。また校舎は父兄のおかげで出来たものですから、校舎の愛護と校内の美化に努めるよう力説しまして整理部を設けています よ。そのため君達の頃とちがって（支局員ニヤニヤ）汚頃はチリ一つ落ちていないようになりました。報恩感謝を信念としてホームの名前にもしています。

近藤　生徒の身上相談等についてクラスの主任だけでなくて、相談出来る専門知識を持った教師がいて、さらにそうした組織があればいいという空気があるのではないですか。

大嶋　それはたしかにあります。旧制高校的な指導教官制度ではないですが、生徒部をあてていますが、今後の研究課題でしょう。

近藤　男女共学については——

大嶋　日本婦人の地位を向上させるには女性の能力を向上させる必要があり、それは急激にはできないので男性の推理力や理解力を知らせればーと思いましてね。男子にとっては人間としての女性を知らせるために男女共学を行ったわけです。これが人間自然であるしー

近藤　まあ、うまくいってるわけですね。いまのところ別に問題も起っていませんし、うまくいってると思います。女子教育では家庭科が問題になっているようですが。

大嶋　希望者は少ないですが日本婦道を体得することは不可欠だと思いますね。地位の向上と女性らしさの養成を同時にというのは理念的にはむつかしいでしょうね。

近藤　女性らしさの養成を比べられるのは女性の能力を向上させるには女性の能力を向上させる必要があり、それは急激にはできないので男性の推理力や理解力を知らせればーと思いましてね。男子にとっては人間としての女性を知らせるために男女共学を行ったわけです。これが人間自然であるしー

大嶋　いやどうも……（笑声）

編集部　どうも色々とお話し下さいまして有難うございました。

大嶋校長（左）と近藤氏（同学社で）

参考書と辞典類は

土佐高校・中学指定店の弊店で！

明文堂

堺町（四銀隣）TEL二九五

突っこまれた遠征費
運営方法に賛否両論

予算會

二十八年度予算会は五月一日より五日間にわたって各部長出席のもとに開かれ、たいした波乱もなく審議決定された。今年は高三が修学旅行のため例年より審議がおくれ部活動にも影響がおこり最急な審議決定が望まれたが、新しい審議方法や慎重な審議のすえ、昨年と同様に五日目ようやく修正決定にいたった。

五月一日の予算会第一日には校長御告案と委員会御告案が提出されたのち、大町委員長より新しい運営方法が提出され採案された。これは今まで一つ一つの部につき審議決定し、予算総額を超過したときは各部から割引していたのに対し、審議のの ち即座に決定とせず仮決定とし最後に全体を総括して採決する方法で、昨年度には当時委員長であった福島君より提案されたが否決されていた。

審議は例年と逆に体育部より行われ、徳島に遠征中の硬式野球部は保留とし他の体育各部を審議仮決定。四日に先日保留となっていた硬式野球部と図書部以下八つの文化部を、六日には四日に審議未了だった文化部および委員会費などが審議仮決定された。

この審議中『学校で集める体育費から部に援助はないか？』と『探究する』というわれわれの態度とは、かけ離れたことであるといわねばならない。しかし、われわれの言葉をふりかえってみるとき社会のあまりにも雑多な刺戟にとまどわされようとすることがある。このようなときこそ、靡の手がわれわれのところへのびていると考えなければならず、誘惑にうち勝たなければならないのである。

われわれは、どのようなときに純真な気持になり、真なるものを尊敬する気持になることができるかということを考えてみるということはきわめて有意義なことであると思う。なぜかといえば、日ごろそのような方法をとることによって われわれの精神を高めていくことができると思われるからである。

芸術作品に接するとき、われわれはまったく純真な感情を経験したなぐさめや勇気を与えられる。また、りっぱな人と交わったり話をきいたりするとき、われわれは真なるものにますます尊敬をおぼえる。芸術作品に親しむことは、自分ひとりでできるが、尊敬できる人に接するためには、もっと積極的な態度が必要になってくる。と

主張

先生との人間的な交り

ちかごろ学生不良化の問題が大きくとりあげられているが、われわれは何を考え、何を行うべきであろうか。率直にいって、われわれはかたくるしいお説教はたくさんだと思っている。また、いわゆる性教育ーとくにそれを扱った映画などはわれわれの不純な好奇心をひくことにあっても、まじめに考えさせられるということはすくないのである。われわれはただ、不良化しないように自分自身で気をつけるようにしなければならない。では具体的にどのような方法をとればよいのだろうか。

不良化するということは、けっきょく精神の純真さが失われることであると思う。それは『真理を探究する』というわれわれの態度とは、かけ離れたことであるといわねばならない。しかし、われわれの言葉をふりかえってみるとき社会のあまりにも雑多な刺戟にとまどわされようとすることがある。このようなときこそ、靡の手がわれわれのところへのびていると考えなければならず、誘惑にうち勝たなければならないのである。

われわれは、どのようなときに純真な気持になり、真なるものを尊敬する気持になることができるかということを考えてみるということはきわめて有意義なことであると思う。なぜかといえば、日ごろそのような方法をとることによって われわれの精神を高めていくことができると思われるからである。

芸術作品に接するとき、われわれはまったく純真な感情を経験したなぐさめや勇気を与えられる。また、りっぱな人と交わったり話をきいたりするとき、われわれは真なるものにますます尊敬をおぼえる。芸術作品に親しむことは、自分ひとりでできるが、尊敬できる人に接するためには、もっと積極的な態度が必要になってくる。と

先生との人間的な交り

ちかごろ学生不良化の問題が大きくとりあげられているが、われわれは何を考え、何を行うべきであろうか。率直にいって、われわれはかたくるしいお説教はたくさんだと思っている。また、いわゆる性教育ーとくにそれを扱った映画などはわれわれの不純な好奇心をひくことにあっても、まじめに考えさせられるということはすくないのである。われわれはただ、不良化しないように自分自身で気をつけるようにしなければならない。では具体的にどのような方法をとればよいのだろうか。

われわれは、どのようなときに純真な気持になり、真なるものを尊敬する気持になることができるかということを考えてみるということはきわめて有意義なことであると思う。なぜかといえば、日ごろそのような方法をとることによって われわれの精神を高めていくことができると思われるからである。

芸術作品に接するとき、われわれはまったく純真な感情を経験したなぐさめや勇気を与えられる。また、りっぱな人と交わったり話をきいたりするとき、われわれは真なるものにますます尊敬をおぼえる。芸術作品に親しむことは、自分ひとりでできるが、尊敬できる人に接するためには、もっと積極的な態度が必要になってくる。と

〝用紙豫算〟に批判の聲
けっきょく別に徴収か

本年度に八万五千円、昨年度には九万四千円と毎年予算総額の十分一くらい用紙代が計上されているが、この用途についていろいろの意見が出されている。

予算会で新聞部代表が用紙代の用途につき質問、委員長より試験、『クラブ活動のために生徒から集めた少い同陽会費を、そのような方面に使ってよいか、学校から出してもらうべきではないだろうか』との声がおこっている。

この問題について岩井先生は、『生徒の意見はもっともだ。試験にももう少し良い紙を使いたいので、用紙代として別に生徒から十円くらい集めることも考えている』と話されている。

社會革新の原動力に
薦田さん（高三）氣を吐く

東京で青少年會議

本年度に八万五千円、昨年度には九万四千円と毎年予算総額の十分一くらい用紙代が計上されているが、この用途についていろいろの意見が出されている。

予算会で新聞部代表が用紙代の用途につき質問、委員長より試験、『クラブ活動のために生徒から集めた少い同陽会費を、そのような方面に使ってよいか、学校から出してもらうべきではないだろうか』との声がおこっている。

この問題について岩井先生は、『生徒の意見はもっともだ。試験にももう少し良い紙を使いたいので、用紙代として別に生徒から十円くらい集めることも考えている』と話されている。

突っこまれた遠征費
運営方法に賛否両論

予算會

二十八年度予算会は五月一日より五日間にわたって各部長出席のもとに開かれ、たいした波乱もなく審議決定された。今年は高三が修学旅行のため例年より審議がおくれ部活動にも影響がおこり最急な審議決定が望まれたが、新しい審議方法や慎重な審議のすえ、昨年と同様に五日目ようやく修正決定にいたった。

五月一日の予算会第一日には校長御告案と委員会御告案が提出されたのち、大町委員長より新しい運営方法が提出され採案された。これは今まで一つ一つの部につき審議決定し、予算総額を超過したときは各部から割引していたのに対し、審議のの ち即座に決定とせず仮決定とし最後に全体を総括して採決する方法で、昨年度には当時委員長であった福島君より提案されたが否決されていた。

審議は例年と逆に体育部より行われ、徳島に遠征中の硬式野球部は保留とし他の体育各部を審議仮決定。四日に先日保留となっていた硬式野球部と図書部以下八つの文化部を、六日には四日に審議未了だった文化部および委員会費などが審議仮決定された。

この審議中『学校で集める体育費から部に援助はないか？』との質問に対し『援助はない』と答弁があり、また『野球部は遠征が多すぎはしないか』『茶華道の師匠への謝礼は野球部の監督の例からみて学校から出してもらってはどうか』などの意見が出された。この結果、仮決定の総額は予算総額を二十万円近く超過し、委員会四役が訂正案を作成することになった。

七日には大町委員長より四役訂正案が提出され、次のような説明があった。①部が増したので各部あたりの予算は自然に減少。②従来の活躍と要求額の細目を検討して慎重を期した。③仮決定にもとづき、また仮決定のときの他の提案も参考にした。

これに対し生徒のあいだには『部で使う紙は事務からもらっても金を払わねばならない。その一方、学校が使うのに無料で提供するのは不合理ではないか』『クラブ活動のために生徒から集めた少い同陽会費を、そのような方面に使ってよいか、学校から出してもらうべきではないだろうか』との声がおこっている。

この問題について岩井先生は、『生徒の意見はもっともだ。試験にももう少し良い紙を使いたいので、用紙代として別に生徒から十円くらい集めることも考えている』と話されている。

〝用紙豫算〟に批判の聲
けっきょく別に徴収か

本年度に八万五千円、昨年度には九万四千円と毎年予算総額の十分一くらい用紙代が計上されているが、この用途についていろいろの意見が出されている。

予算会で新聞部代表が用紙代の用途につき質問、委員長より試験、『クラブ活動のために生徒から集めた少い同陽会費を、そのような方面に使ってよいか、学校から出してもらうべきではないだろうか』との声がおこっている。

この問題について岩井先生は、『生徒の意見はもっともだ。試験にももう少し良い紙を使いたいので、用紙代として別に生徒から十円くらい集めることも考えている』と話されている。

社會革新の原動力に
薦田さん（高三）氣を吐く

東京で青少年會議

写真は　薦田淳子さん

【東京支局・五月十五日発】第一回全国青少年会議に高知県代表として本校高三生の薦田（コモダン）淳子さんが出席した。この会は中央青少年問題協議会の主催で五月十四、十五の両日にわたって首相官邸で開かれたもので『こんにちの社会における青少年のあり方』などについて討議がかわされ盛会であった。

薦田さんは静かな態度と明確な論旨で聴衆の注目を集め、参加者全員を代表して記念品を受取るなど活躍、閉会後本紙記者に対し次のような感想を語った。

ほとんどがすでに社会の各職場についてお働いていらっしゃる方達で、私のように学生のものは少なかったですが、皆それぞれの立場から真剣に討議を続けられ、多くのわれわれ年徒が無視されてはたまらない（横川禎夫）

得た経験をもとにして、今後も青少年問題をまじめに考えてきたいと思います。

◇薦田さん演説要旨

〝〝〝〝〝〝

過度に発達した科学（たとえば原爆など）の前に屈服し、それおのおのいている今日の社会において、私達の第一のつとめは、一らを滅ぼす愚かな戦いを決してこの世に存在さすなー ということにあろう。

美名におおわれた戦争は実つまらない国際間の勢力あらそいはたかろうか？この愚劣な戦争をどの前に屈服し、それふたたびくりかえさぬよう、われ日本人は叩ばなければならない。二度とあの惨禍をくりかえさぬよう努めるべきではなかろうかわれわれの誇っていいものは若さであり、天をつく意気である。また古来社会を進歩、革新させたのは青少年の意気、純真、感激である。これこそまことの社会進歩の原動力であろう。

われわれはこの重大な使命をはたすため、戦争の虚偽をみぬく良識ある社会人にならなければならない。一人の英雄よりも、一人でも多くの良識ある社会人の実現が、平和な民主日本建設のため大切であろう。

良識（事の正邪を自分で判断する力の基礎となるもの）をもってわれわれは戦争のない平和な国家を建設しようではないか。

作品募集
はやくも十數點集る
六月八日から　寫眞コンクール

春の選足、旅行に願をとった写真の第二回コンクールは六月八日から一週間、新聞部主催で行われることになり早くも校内の人気を呼んでいる。写真コンクールは昨年、生徒会の主催で行っているが、しめきりは六月五日（金）、枚数、サイズは自由だが作品の裏には時、場所、学年、氏名、題名あるいは説明を書きこむこと。本校生徒、先生職員のかたならだれでも参加できる。

長生きのお陰だヨ
大嶋校長帰高談

大嶋校長先生は十三日に東京神田の共立講堂で行われた教育功労者の表彰式から十六日帰高、つぎのように語られた。

自分は七十四人の一人として表彰されたが、その資格はないと思っており恥しい次第だ。式に参列して両陛下にお目にかかることができひじょうにうれしかった。これも長生きしたおかげだと思う。天野前文相と長谷川如是閑氏の講演があり天野さんは例の道義高揚について話された。また長谷川さんは『教育は教えるという気持ではなく対等の立場で相手が教えあうというのでなければならない』といわれたが自分としてはこれに多少の疑問をもっているしかしこの点は学校教育の問題ではなく社会全体の問題であろう。

東京で校長歓迎宴
表彰の夜・先輩有志が

【東京支局】大嶋校長先生が表彰された十三日夜、在京先輩有志は校長先生の歓迎宴を張り、なつかしい思い出話はいつまでも続けられた。

片岡、佐藤、等の諸氏が出席。

先輩訪問記 12

保安庁監査課長　小笠原喜郎氏（五回生）

『僕のような者が紙上で母校の諸君にお目にかかれるなんて……』と謙遜される小笠原氏は静かな物腰でいかにもインテリといった感じ。高知高校から神戸大に学ばれ社会人になってからも東大の研究室で勉強されたという学究肌。話題もすぐに教育問題へー。

『現在の教育制度は決して日本人に適したものではないと思います。戦後の諸政策の中では大きなミスだと思うんですよ』と占領政策の行きすぎ（？）を突かれる。土佐協会の理事もされており教育関係には縁のあるお体。話れば見識の広さはみずからあらわれてくるといった型である。

『今のように他動的な制度にこだわっているのではどうも……』国家の将来は不安だといわれる保安庁の課長さん。

『母校の教育についてですか？…予備校的だといわれているようですが、あまり神経質になる必要はないと思いますね。常識論になりますが、本人の志望や家庭の希望により、各人の能力に応じて教育するというのがいいのではないかと考えます。僕なんかのときは一学年の定員がわずか三〇人でしたから、相当やりましたよ。でも今の母校にはそうなってもらいたくないですね。昔にくらべると進歩したという点がほしいですね』さらに語をつがれて『学校の成績がすべてを決定するものではないですよ。頭脳のいいということと紳士であるということは別問題ですから……。私学の特長を生かして人間修養につとめていただきたい』と、メガネの奥に知性をたたえて語られる。

趣味については『僕はまったくの芸なしで……』とおっしゃるが、碁のほうでは日本棋院の初段の免状をもらっているあたり相当な腕前で、在高諸先輩の中でもA級。お酒は？『飲めないといったら仮人ですからね……。僕の家は酒に関係のある商売だったから、まあ……』とおっしゃる。

最後に母校の女生徒に何か一言とお願いすると『別にこれといってはないですがただ社会現象を男性にも劣らぬように判断できるインテリジェンス（知性）を養ってほしいですね。新学制になって男女共学を実施した目的もそこにあったんじゃないですか。西洋の女性は男性と同じように判断力が豊かですが、東洋の女性はどうしてもおくれているようですね。やはり歴史的なものかな。それから、なにも女性に限ったことではないですが、日本人は一般に社会人としての〝もの〟の見方〝ができていないですね。戦争いらいの何年間もの足ぶみだけでも相当おくれですよ。そのおくれをとり返すという実力テストもなにも結構。しかしそれらにいたずらに時間をさいても、授業中に肝要の先生と生徒間の信頼、愛情がなくては何にもならないですね。〝仏つくって魂入れず〟とはこのことである▼自分のあやまりを訂正するのはむずかしいことだろうが、一個人の名誉（いやそれはもう名誉ではない）にとらわれて、多くのわれわれ年徒が無視されてはたまらない（横川禎夫）

落書

五月も下旬である。若葉の候、中間試験の候▼朝と放課後の補習は順調、毎土曜日には模擬試験、学校長は教育功労者として表彰を受ける——まさに我が道を行く私立土佐高・中学校ではある。生徒の張り切りようもすばらしい。先生たちの御努力にも感謝すべきである▼が、一部にこんな不服の声がおこっている—先生のまちがいを指摘したのにそれを正してくれない。たとえば「うー、それもそうだが……」とごまかして次に進んでしまうそうではなはだしきになると白馬非馬的な言葉を数頭で発せられるのである。みんなの先生がそうだというわけでないのはもちろんである▼先生といっても人間であるからあやまりのあるぐらいはわれわれ生徒もよく承知している。まちがったからといってその先生を軽蔑するわけでもない。まちがいのないのがいいのは当然だが、しくじってもそれを訂正する先生のほうが、片意地をはって自分の非をただそうないより立派であることはわかり切っている▼本校の生徒は授業中の発表がたいへん不活発で、これは先生、生徒ともに痛感しているところである。その生徒が勇を鼓して自分の所信を発表した結果がこうであってはたよりない▲『僕は先生のあののらりくらりとした言葉に、いいようもない祭りをさそわれた。裏切られたように思った』とある生徒は言っている。先生と生徒との間にこんな憎悪の壁がたてられるとは、教育的にみても学校というところにあってはならないことであろう。先生と生徒との間にこんな不信と疑惑のカーテンがひかれると、あってはならないというよりは、恐ろしいことだというべきではなかろうか▼明夕の補習もよかろう。一週間ごとの模擬試験、一カ月ごとの実力テストもさらに結構。しかしそれらにいたずらに時間をさいても、授業中に肝要の先生と生徒間の信頼、愛情がなくては何にもならないですね。新学制になって男女共学を実施した目的もそこにあったんじゃないですか。西洋の女性は男性と同じように判断力が豊かですが、東洋の女性はどうしてもおくれているようですね。やはり歴史的なものかな。それから、なにも女性に限ったことではないですが、日本人は一般に社会人としての〝もの〟の見方〝ができていないですね。戦争いらいの何年間もの足ぶみだけでも相当おくれですよ。そのおくれをとり返すという実力テストもさらに結構。しかしそれらにいたずらに時間をさいても、授業中に肝要の先生と生徒間の信頼、愛情がなくては何にもならないですね。〝仏つくって魂入れず〟とはこのことである▼自分のあやまりを訂正するのはむずかしいことだろうが、一個人の名誉（いやそれはもう名誉ではない）にとらわれて、多くのわれわれ年徒が無視されてはたまらない（横川禎夫）

三年生に多い違反行為
中学選挙　候補者紹介に反省の余地

本年度前期の中学生徒会委員総選挙で会長西山君以下の役員が決定されたが、女子が委員に一人も当選しなかったことや、立会演説をとについて 問題 がのこされている。以下、総選挙について、ふりかえってみよう。

西山君が次点の森本君を四百票近くもひきはなして当選し、副会長には森本君が四百票、岡林君が二百票を得て当選した。西山君、森本君の得票の半数以上は、立会演説でのうまさによるものではないだろうか。特に西山君の授業料値下げ、学校の美化を中心とした演説は多数の拍手をあびた。次点の長瀬さんが女子の票を多く得られなかったのは、予想外であった。この場合、三年B組から副会長候補二人を出したので票が二つにわかれたことも原因しているのではなかろうか。候補者を一人にして岡林君と戦わすとおもしろかったかもしれない。

中央委員は一組から三人も出すクラスがあるかと思えば、一人も出していないクラスもあるのは、反省の余地があるだろう。特に三年D組は会長一人だけしか出さないのや、一年生の不活溌さは反省がのぞまれる。本学期の役員には女子が一人もいないのはいかに本校の女子が不活溌であるかがうかがわれる。

けっきょく中学校では投票直前に行われる立会演説の内容が、大きくひびくのではないだろうか。選挙管理委員は、立候補者の名前をよみ上げるだけでなく候補者のかんたん な前歴を発表したり、三年生に特に多い違反的行為（投票直前に『○○に投票せよ』などと叫ぶ）をなるべく少なくするようにつとめるべきである。（示野記者）

クラス対抗討論会を開催

人文科学部と新聞部では六月中旬にクラス対抗討論会を開きます。学生生活に身近な問題をとりあげてその肯否につきクラス 単位で討論、優秀な クラスには 人文科学部、新聞部より賞品、賞状がおくられます。参加希望のクラスは六月十日までに、人文または新聞部員へ申込んでください。

楽しく意義ある活動を!!
新聞部員募集
進歩的な男女諸君を歓迎
理想の学園を建設しよう

抱範ボストン
皮革製婦人手提ハンドバック
各種

高知専門店会の店
マエダ範店
オビヤ町一丁　(電)1290

メガネ専業

イリキ眼鏡店
高知ハリマヤ町　電話998番

正修　通信受験指導部
栄冠は諸君の決意次第だ!!
○英・数・国を各大学教授陣指導
○理科・社会は機關誌"The Seishu"（A5判六四頁）に講座模試問題を掲載
○機關誌"The Seishu"を無料進呈
○夏期と冬期に予備校「正修」の特別講習会に無料で参加できる。
○予備校「正修」の講義、模試問題（解答つき）も同時に自宅で学習できる。
ハガキで学則・内容紹介請求あれ。
（『向陽』で見た旨附記のこと）
東京都千代田区神田駿河台二の三
国電お茶の水駅下車西へ三分
正修英語學校

東南アジア開発の重要点

―王貞達雄―

東南アジアの開発に関し政府が具体化を計るとの報道が載っていたが（高知新聞・五月十八日）東南アジアの開発とはどういうことであり、その目的は何であるかを簡単に述べてみよう。

二十六年九月、国連待望の平和条約が締結され、二十七年四月末から正式に独立国としての資格が与えられたが日本経済の将来は、はたして明るいものであろうか。独立したために加重された負担が相当ある。まず第一に平和条約に定められたところに従って戦時中日本が犯した罪に対する賠償や過去の外債整理、連合国財産に対する補償、アメリカの対日援助資金の辨済などを解決して行かねばならぬ。第二に国防上の空白をうめる措置として日米安全保障条約が成立し費用の一部は当然わが国の負担となりまた国内治安維持の費用も当然増加した。

もともと四つの島に九千万の同胞がひしめき合い、これという資源を持たない日本は自活すら困難であり、さらに加重された負担をいかにして処理して行くか。その為には今後は大いに工業を振興し外国貿易に依存し生活の道を切り開いて行かねばならぬ。言葉はやさしいが現実の問題として不足する食料をどこの国に求めるか、原料をどこに仰ぐか、生産加工した工業製品をどこの地に輸出するか、複雑した国際情勢のもとではきわめて難しい問題である。最近、中共貿易の可否がやかましく論ぜられているが、じゅうぶんなる解答とに考え得られず、東南アジアの開発とその問題に明確な解答を与えてくれるものと思われる。すなわち日本に必要とする食料、とくに米の大量輸入が期待され、さらに工業原料たる鉄鉱石その他の必要重要物資の輸入が可能でありさらに開発により約五億におよぶこの地域の人々の生活水準を高めることは、これらの地域が将来中共地区によって、日本の有力な輸出市場として登場してくる可能性がある。

東南アジア開発問題は昭和二十六年五月、周東経済安定本部長官が総司令部経済科学局長マーカット少将を訪問した時に同少将より『日本は世界的に不足している資源の供給をふやすために東南アジア地方の開発を思い切って進めるべきである』という意義深い示唆を受け、はじめて日米協力経済の一環として取り上げられたものである。対象となる国々はタイ、ビルマ、インドネシア、フィリッピン、台湾、韓国、インド、パキスタン、アフガニスタン、セイロン、ネパールの十二カ国で世界の宝庫である。これらの国々は第二次大戦までは西欧諸国の植民地であった所が多く、産業もゴム、錫などの特産品を除いてはほとんど開発されず住民は低い生活水準に甘んじてきたが、第二次大戦後独立運動が起り民族主義が盛になり、政治経済の面で大きな転機をしつつある。

こうした変動期にあって共産主義と民主々義との対立がになはだしく共産主義を防ぐために、西欧諸国は従来の植民地政策をあらためて『原住民のための経済政策』を確立する必要にせまられている。東南アジア開発計画はさらにこの地の産業を開発し同地の生活水準を向上せしめ、対共防衛地区建設をせんとするにある。いま仏印におけるホーチミン軍が積極的に攻勢に乗りだしたことは朝鮮の休戦問題との関連性は別として少くとも東南アジアの中核ともいえる部分に大きなクサビを打ちこむことによってアメリカの対ソ政策の一部を崩壊させようとする意図のあることが明らかに看取される。仏印がもし共産陣営の手におちいることになれば東南アジアをこの地において東西に分断せしめ、さらに西進南進の基地になり得ることも容易に想像される。さらに我国にとっては今後の経済の自立および発展のための開発計画に大きな障害となり得ることも考えられる。アメリカがいかに仏印問題に重大な関心を有しているかは、以上の点からでも明白である。

東南アジアの開発により我国の受ける経済的利益としては、経済安定本部の計算によると、三カ年後には鉄鉱石四五〇万トン、ポーキサイド二〇万トン、燐鉱石三九万トン、ニッケル鉱石一五万トン、ほかに多量の原油、木材、米などがある。これらの地方の多くは戦前において日本が開発に従事した経験があり、対日感情さえ好転すれば順調に進むものと考えられる。以上のように東南アジア開発は国際的にも、とくに日本経済復興の上にも重大なる意義をもっているすでに二十六年七月、日米合同の資源調査団が派遣されて、第一次基礎調査が完了している。

もっとも重要な開発方法としては日本の資金と技術をもって日本の責任で行うのが望ましい。資金の不足はアメリカ側の協力によることが可能となるであろう。

国内にはまだ解決しない幾多の重要な問題が山積しているが、すくなくとも東南アジア開発によって日本経済の将来に明るい希望のもてることは否めないであろう。

（筆者は本校教諭）

米側 防共地區の建設にわが國經濟には希望

大平洋同盟への第一歩 わが國へ一億五千万ドル

MSA援助と自衛力の漸増

吉田内閣の自衛力漸増方針は内外の議論をよびながらも着々と進められているが、これにちかく米国側からの大きな援助が加わり、ますます強力な〝自衛力〟ができあがろうとしている。これはとりもなおさず、米国を中心にした〝大平洋同盟〟結成への一段階とみられ大いに注目されるところである。ダレス米国務長官は五月五日の上下両院外交委員会の合同会議で『日本に対して、国内の安全保障および防衛に必要な武器をととのえるため資金を提供しようとする』ことをあきらかにした。またこの合同会議でアイゼンハウアー大統領は、予算五八億二八〇〇万ドルにのぼる来年度（今年七月―来年六月）の対外軍事経済援助計画の承認を要求しており、このうち一億五千万ドルが日本にまわされるだろう（高知5・16）と米当局は言明している。

この援助は、相互安全保障法にもとづく対日軍事援助（MSA援助）という形で急速に具体化するのではないかと、わが国の政府筋も観測しているという。すなわちアリソン米駐日大使の着任をまって、おそくても六月中旬にはアリソン・吉田会見が行われ、具体的な話し合いが行われるだろうが、機械筋によるとこの援助によって保安隊を十五万人にし、これに質的改善をほどこす程度になるだろう（読売5・11）という。

このような保安隊の増強とともに考えなければならないのは、わが国にある米国軍事基地（およそ六〇〇あるといわれる）の問題である。

内灘試射場が〝無期限使用〟を決定される模様（朝日5・10）だというほか米軍側のわが国に対する基地要求はだんだんと増しているようである。このような日・米両国の共同的な〝防衛〟態勢は『大平洋同盟』という米国圏を中心とした防共勢力結成への有力な要素となろう。（きよみ）

新婚旅行にはまた……〝忘れられない出湯〟

高三修学旅行

じつに運がよかったと思う。ヘタすれば四月二十五日に出発するのだったから、二十七日には阿蘇に登頂しており、あの爆発に遭遇したはずである――。旅行中は快晴つづき。うすぐもりが最悪の天候というのだから、また恵まれていた。以下、九州を一巡したこのたびの高三生修学旅行のウラオモテを日記ふうに記したものである。（福島清三）

四月十八日（土）晴

出発前日。旅行の打合せの最後の集いが玄関前で行われた。校長先生から『ひとつ愉快にすごしてきてもらいたい。少々ハメをはずすのも仕方あるまい』との味のある訓辞をいただき一同大いに意を強くした。ヤッサンと安岡先生の『ただいまより中隊教練を行う！』に一同微苦笑。小隊、班を整理したのち解散する。

四月十九日（日）晴

定刻ギリギリに走りこむ者が一名あったが、まずは全員無事乗車となる。最後部の列車はほとんどが本校生ばかりなので合唱、合奏まで飛び出し、車が揺れるばかり。早くも修学旅行気分満喫というところ。夜の九時半ごろ高松桟橋着、十一時過ぎ、にしき丸に乗船。足に顔が重なるザコ寝に一同悲鳴をあげる。

四月二十日（月）晴

午前四時、『わっ』というカン声に船尾へ走る。日の出、壮厳な日の出である。赤熱の火の玉が水平線のかなたから、しずかにしずかに昇る。一点のくもりなき空は僕等の前途を祝福するかのようさわやかな潮風を浴び深く胸底にしみこんだことであった。午後一時別府港に入る。プォウオヴ！と鳴る汽笛に惜別の情を感じながら上陸、ただちに観光バスに乗りこみ地獄まわりとなる。船での睡眠不足も忘れて、ウグイス嬢の説明に聞き入る。夜の出湯の気分は忘れられない。五度も入った勇士があるとのことだった。

四月二十一日（火）晴

うすぐもりの空も防府駅に着くころにはカラリと晴れ上ってしまった。ここは阿蘇カルデラの中心地帯である。三方に雄大な外輪山を望み南に阿蘇中嶽を仰ぐ。中嶽のすぐ下でバスは止る。岩肌の露出した斜面いちめんに火山灰が敷かれている。火口まで一キロ弱。みんな次々と煙めざして上ってゆく。そのしんがりを広田先生を中心にHホームの者が上る。童顔をほころばせた先生のお顔を仰ぎみてうれしかった。無事山頂に着き火口をのぞむものに『こわいキンの、あんまり端へ行かれんゼヨ』と先生はステッキを振られる。先生には御無理を申したけれども、やはりいっしょに来ていただいてよかったと思ったことであった。

四月二十二日（水）晴のち薄曇

熊本城見学ののち三角に向う。有明湾の一角をしめる小港である。少々風波があり巡航船はゆたりゆたりとゆれだしたが、幸い酔うものもなくキリシタンの島、島原へと向う。島原からバスで湯の町、雲仙に入ったのは夕もやのおりようとする頃であった。『ナイソ、ナイゾ』の声につられて、なんだろうと思っているうちに『アッタ、アッタ、ワーッ』とのカン声が車の一隅に上った。なんだろうと思ってそのほうを見れば、これがなんとパチンコ屋、夜が思いやられることであった。

四月二十三日（木）晴

仁田峠の展望台に一時を過したのちホテル前に集合。『新婚旅行の節にはまたどうぞ』の送り声に勇躍？最後の宿泊地、長崎へと向う。このほど本校にオーケストラが発足することになり、その第一段階として薬部が早くも秋の発表会を目指し猛練習にはげんでいる。この薬部のメムバーはヴァイオリン約30名のほかチェロなどで、女子も多く13名程度。四分の三のヴァイオリンも多くまじって『ホーム・スイート・ホーム』のメロディーが新しい音楽室いっぱいにひびいている。

〔写真〕広田先生を肩に阿蘇へ登るHホーム三年生

秋には發表會を――本校にオーケストラ發足

◇先月、高知新聞紙上に発表された高知県教育界にセンセイションを起した高校生検挙事件なるもののグループの一員に、土佐高卒業生の名を見出した人は私一人ではあるまい。本校在校生の中には、関係者を出していないのを名誉と心得ている方々もいるようであるが（例えば前号の本欄）実においでた次第であると思う。なおあの記事を見るとその大半は高校中途退学者ばかりであり、高校教育を受ける資格無しと断定された人達であることを注意すべきである。その中にまじって高校の教育をりっぱに終えた人々が入っているということは高校の先生方に大いに反省していただきたい。その卒業生の一人に本校出身者がまじっているということは本校における人間教育の貧困さを物語っているのではなかろうか

◇先日の新聞で高校指導教育会議とかいうものについてのニュースをみたがその会の内容も今までのとくらべて一歩も進んだ所のみられないのは残念である

根本的な精神教育を

高校も過去数年間もはや実行しつくされ尽した感のある教育方法によっては完全に一つのものとして行い得るものであると確信する。幸にして本校は特異なる存在であり他校に比べて良質の生徒が集っているし先生方も優れた方々ばかりだからこの機会に生徒の精神面に触れる教育をそれぞれの学課の場において行っていただきたい。（高知・一卒業生）

▼投書歓迎▼原稿には学年氏名（校外者は住所・職業）明記のこと▼紙上匿名可

詩

万年筆がタッタ五円

それでも三百円の収入

級友物の大安売りが五月二十一日生徒部室で行われた。日頃おそろしい生徒部室もこの日は満員。時価三百円くらいの万年筆が五円で売られてゆく。カビのはえたトレパンも五円。この日の収入はザッと三〇〇円で学校の建築費にあてられるそうである。放課後の暗い生徒部の机の上に古い弁当箱が三つさびしそうにすわっていたのはちょっと可愛相……

同窓会だより

東京 同窓会東京支部では六月十三日午後、文京区小石川の茗渓会館で春の同窓会を行う予定。◇伴正一氏（17回生・東大法卒）はサンフランシスコの総領事館に赴任するため四月十一日、羽田空港を出発。同氏は昨年の外交官試験（競争率七〇人に一人）にパスしていた。なお北村正志氏（22回生・東大法卒）も今年の外交官試験にパスしている。【東京支局】

高知 高知大学教育学部では土佐中会を結成。教授、学生を含む同窓生相互の親睦をはかる。なお文理学部でもこれに応じて同窓会の結成が計画されている。

▼…応援歌作曲の平井先生、今春の選抜野球大会の実況放送で『土佐高校の白い校旗が甲子園の空に……』というアナウンスを聞き、さっそく新聞部にお手紙『土佐高校の負けたのは旗のせいなんですヨ、白旗だなんてエンギでもない。白は降服のしるしだからすぐ変えるべきですネ』

▼…これを聞きおよんだ大嶋校長先生、白旗を弁護？『いちがいにはゆえんよキミ…源氏は白旗でも赤旗の平家を破ったからね……』

吹矢

部員募集

人文科学部

表彰の陰に四〇年〝校長先生（オジサン）〟はお酒のまぬワ〟

『郷里の高松へ行っていたので、おじさん（大嶋校長）が表彰されたのは知らなんだが、琴平で聞きました。これもみなさんのおかげで……』と、校長先生の奥さん、龍乃さんはさすがにうれしそう。高松から帰ってこられた十七日昼すぎ、日曜日ののんびりした校長官舎でのおことばである。結婚されてすでに四十年ちかくも校長先生の陰となり尽してこられたかたである。香川県の旧家に、女子はかり六人姉妹の四人目としてお生れになり、和声女学校を御卒業後岡山で教鞭をとられていたとき同じく教職にあった大嶋先生と『ごく平凡な見合結婚』をなされたのだといわれる。

『みなさんは、おじさんを大酒飲みのように思っているようですが、バンシャクに一合くらいそれも最上級のものを飲むくらいのもので、好きだが大酒は飲みません。よその宴会でも、わがままをいって二級酒はここわるくらいです。あれほど健康なのも良い酒を少しだけ飲むためだと思います』と酒豪説に対して一弁護される。奥さんのお体もまた健康そのもののように見える。

趣味は邦楽。校長先生のウタイや鼓太美に三味線の伴奏を入れる夜もあるという、きわめてむつまじい御家庭である。

『自分の生んだ子供は三人だけですが、一七〇〇人の生徒さんみんなを自分の子供だと思うと生きがいがありますよ』といわれるあたり教育者の奥さんの面目ヤクジョ。

『さあ、これから買物をして来なくちゃ……』と買物カゴをとりに立たれた。

新婚旅行にはまた……〝忘れられない出湯〟

高三修学旅行

（第二面に続く）

景風習練き姦しき

ソフトボール部

昨年度から誕生したソフト・ボール部である女子の中学生ばかりで組織されている部だけに、午後ともなるとりひろげられる練習は他の野球部サッカー部などの中でひときわ目立っている。昨年中途から誕生したため部費がとれず、完全な練習ができなかったが、本年度は一万一千円の予算を獲得し、思う存分活躍するとのこと。真白な制服・制帽・白ズックといでたちの長瀬部長は次のようにいう新しい制服はかるくてよいです。投手の門田さんは去年からの練習でスピードも出ています。リリーフには川脇さんをそなえて完璧。捕手は小柄ですが、ねばりがあります。打撃陣は全員無事乗車カット少将を訪問した時に同少将より『日本は世界的に不足している資源の供給をふやすために東南アジア地方の開発を思い切って進めるべきである』という意義深い示唆を受け、はじめて日米協力経済の一環として取り上げられたものである。対象となる国々はタイ、ビルマ、インドネシア、フィリッピン、台湾、韓国、インド、パキスタン、アフガニスタン、セイロン、ネパールの十二カ国で世界の宝庫である。これらの国々は第二次大戦までは西欧諸国の植民地であった所が多く、産業もゴム、錫などの特産品を除いてはほとんど開発されず住民は低い生活水準に甘んじてきたが、第二次大戦後独立運動が起り民族主義が盛になり、政治経済の面で大きな転機をしつつある。

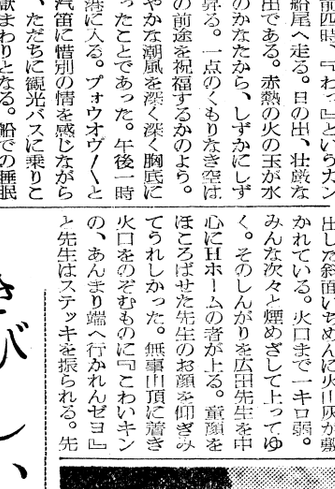
こうした変動期にあって共産主義と民主々義との対立がになはだしく共産主義を防ぐために、西欧諸国は従来の植民地政策をあらためて『原住民のための経済政策』を確立する必要にせまられている。東南アジア開発計画はさらにこの地の産業を開発し同地の生活水準を向上せしめ、対共防衛地区建設をせんとするにある。いま仏印におけるホーチミン軍が積極的に攻勢に乗りだしたことは朝鮮の休戦問題との関連性は別として少くとも東南アジアの中核ともいえる部分に大きなクサビを打ちこむことによってアメリカの対ソ政策の一部を崩壊させようとする意図のあることが明らかに看取される。仏印がもし共産陣営の手におちいることになれば東南アジアをこの地において東西に分断せしめ、さらに西進南進の基地になり得ることも容易に想像される。さらに我国にとっては今後の経済の自立および発展のための開発計画に大きな障害となり得ることも考えられる。アメリカがいかに仏印問題に重大な関心を有しているかは、以上の点からでも明白である。

東南アジアの開発により我国の受ける経済的利益としては、経済安定本部の計算によると、三カ年後には鉄鉱石四五〇万トン、ポーキサイド二〇万トン、燐鉱石三九万トン、ニッケル鉱石一五万トン、ほかに多量の原油、木材、米などがある。これらの地方の多くは戦前において日本が開発に従事した経験があり、対日感情さえ好転すれば順調に進むものと考えられる。以上のように東南アジア開発は国際的にも、とくに日本経済復興の上にも重大なる意義をもっているすでに二十六年七月、日米合同の資源調査団が派遣されて、第一次基礎調査が完了している。

もっとも重要な開発方法としては日本の資金と技術をもって日本の責任で行うのが望ましい。資金の不足はアメリカ側の協力によることが可能となるであろう。

国内にはまだ解決しない幾多の重要な問題が山積しているが、すくなくとも東南アジア開発によって日本経済の将来に明るい希望のもてることは否めないであろう。

（筆者は本校教諭）



新しい制服で練習中

きびしい自己への批判 新しい感覚の40点

鎮西先生個展

本校の鎮西忠行先生の第三回水彩画個展が五月八日から三日間、公民館で行われた。

軽快なタッチ、のびやかな筆致、明かるさ、そんな感覚を盛る四十点近くもの作品にかこまれ『思っていたよりたくさんのかたが観に来てくださるので自分のしていることに予想以上に意義のあることを感じてうれしくおもっております』と多くの観客を迎えて先生はにこやかにほほえみながら語り始められた。

こうして作品をたくさん並べていると自然に今後のすすみ方についての決心というものが生れてきますよ。個人展行経費がずいぶんかかりますし、じゅうぶんな設備がないためにあまり行われないんですが、普通の展覧会よりも実際にはこの方が画家にとってもずっと勉強になって意義があると思いますね。

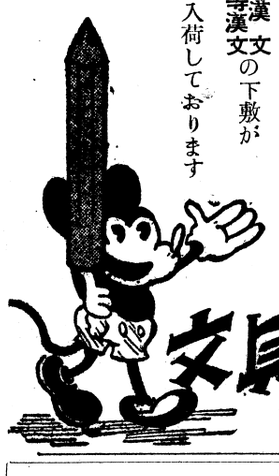
――あとこの中で好きな絵ですかこれはどうも――と記者の子供っぽい質問に苦笑されながらも話しつづけられる。

かく時の感情とか気持のあり方がさまざまですから絵にあらわれる感じも違うんですよ。だからこういってさし示される先生の指を追う目に〝富士〟がうつる。水と絵具による濃淡の美しい流れ、それらからにじむように透いてみえる下ぬりの色の美しさ、かぎりない憧憬から生れ出た自然でないそれでいて一すじ一すじに動きといえるものが感じられる線、新鮮な色……新しい感覚がみなぎる明かるい絵である。これに対してただ単に色としてみた場合、けっしてきれいだなとはいえない。しかしなぜか力強く引きつけるものをもつ絵〝浅間の噴り日〟もまたすばらしかった。造形的な深いつっこみがあり、創作しようとする意欲の激しさが感じられて――。なおも先生は語りつづけられる。

〝だが、まだ不必要な説明がすぎています。説明のためのつっこみでなく造形的なつっこみ、造形的な美しさを、本格的な憧憬を通して表現したいですね。説明的な態度なんかは除いて自分自身にきびしい批判をむけられる先生の今回の個展の御成功を祝しながら――。（大庭記者）

毎度ありがとう御座います

新漢文 高等漢文の下敷が入荷しております



文具店

Hujiya
高級服地専門　オビヤ町下北側
クーポン券歓迎　電二八四四
フジヤ服地店

Oomiya
夏色が沢山入荷しました
毛糸・洋傘専門店
オビヤ町下一丁目北側　電三三六四
應美屋

優秀石油コンロ
「石油はお安く，少量でもすぐ配達いたします」
株式会社 溝淵石油店
四ツ橋畔　電一一一八・一六三三

Komesige
初夏向服地入荷
オビヤ町　※コメシゲ　T.1736

高校へ入学スル
ナラ土佐高校へ！
洋服買ウナラ原へ！
クーポン歓迎
学生服、背廣、ズボン
レインコートほかいろいろ
オビヤマチ
原洋品店

食品加工原料卸問屋
香料（エッセンス）コーヒー、ココア
サイダー（一級品）、脱脂粉乳、コン
デンスミルク等
家庭向でも少しまとまれば卸價で
お分けします
株式会社 クラウン社
営業所　高知市ハリマヤ町（紺屋町角）電四二六
本社工場　高知市本丁筋二丁目　電七四六
高松支社　高松市塩上町八九二　電五、八一一

中間試験の勉強に良い辞書
参考書をお選びください
新刊書籍雑誌
南明社書店
★☆はりまや橋より北一丁東側☆
みんなが親しめる教養書
岩波文庫　新潮文庫　角川文庫　市民文庫　創元文庫　三笠文庫
岩波新書　岩波少年文庫　岩波写真文庫　くせじゅ文庫　アテネ文庫　音楽文庫

土佐名産
かまぼこ
立石蒲鉾店
本店　高知市新京橋（T.179）
支店　高知市南はりまや町